

C E M 教会教育推進会

分級別教案カリキュラム表 幼稚科～高校科



カリキュラムの組み立て

- 【聖書物語法】・ 幼稚科2年間で、聖書全巻からトピックとして基本的な聖書の概念を学びます。
 - ・ 小学下級科と中級科の4年間で、聖書全巻から聖書の主要な物語を学びます。
- 【教授学習法】・ 小学上級科から高校科までの8年間で、聖書全巻から聖書観・価値観の土台を築く基礎的な教理を学びます。

☆ 分級別教案の著作権は、北米コロラド・スプリング州にあるクック・コミュニケーションズ・ミニストリーズ・インターナショナル社（略称CCM社）にあります。1997年秋に、スク립チャー・プレスその他の教案出版会社が統一併合されました。

※ CEMのホームページからアクセスできます。

教会教育推進会

〒563-0038 大阪府池田市荘園2-1-12

TEL&FAX 072-762-3299

振替：00950-3-796

<http://www.cem-japan.com/>

※「教会教育推進会」で検索！

幼稚科「スタート」カリキュラム表

第 1 年 目		第 2 年 目	
①	『さんびしましょう』 (イス復活／アブラハム他) 1 さんびしましょう 2 だれにも親切に 3 イエスさまはお友だち	③	『素晴らしいイエスさま』 (イス復活／パウロ／ナア他) 13 素晴らしいイエスさま 14 神さまのお手伝い 15 従いましょう
	(ザカイ／ダビデ／ダニエル他) 4 イエスさまといっしょに 5 神さまに喜ばれる子 6 強くなるう		(イサヤ／ダビデ／イス御業他) 16 分け合いましょう 17 神さまの力 18 愛してくださるイエスさま
②	『たすけましょう』 (ナマン／モーセ／イス誕生他) 7 助けましょう 8 感謝しましょう 9 クリスマスおめでとう	④	『わたしたちの聖書』 (テモテ／イスラ／イス誕生他) 19 わたしたちの聖書 20 神さまありがとう 21 うれしいクリスマス
	(サムエル／ダニエル／エリヤ他) 10 神さまのみことばを聞こう 11 神さまにお話ししよう 12 助けてくださる神さま		(ヤコブ／サムエル／モーセ他) 22 お守りください神さま 23 わたしの教会 24 神さまからの贈り物

小学下級科「ホップ」カリキュラム表

第 1 年 目		第 2 年 目	
①	(礼拝) 『神さまに喜ばれる礼拝』 (アブラハム／ネビヤ他) 1 礼拝ってなあに 2 お祈りってなあに 3 いつ賛美するの	③	(神) 『神さまの力』 (天地創造／ダビデ他) 1 神さまは何を造られたの 2 なぜ信頼するの 3 なぜ親切にするの
	(聖書) 『神さまがくださった聖書』 (モーセ／ヨハネ／ルカ他) 4 なぜ聖書を学ぶの 5 だれが聖書を書いたの 6 聖書は何と言っているの		(キリスト) 『イエスさまの働き』 (イス御業／ペテロ他) 4 イエスさまの命令はなあに 5 イエスさまの力はどんなの 6 なぜ従うの
②	(証) 『神さまの恵み』 (パウロ／イス誕生他) 1 なぜパウロさんは話したの 2 なぜパウロさんは苦しんだの 3 なぜイエスさまは生まれたの	④	(信頼) 『神さまの約束』 (エリヤ／エリヤ／イス誕生他) 1 エリヤさんは何を聞いたの 2 神さまはどう助けたの 3 神さまはどう約束を守られたの
	(信仰) 『救い主イエスさま』 (イス幼少～復活他) 4 なぜ神さまに従うの 5 イエスさまはどんなお方 6 なぜイエスさまは死なれたの		(救い) 『ただひとつの救い』 (エステル／ペテロ／イス復活他) 4 なぜ神さまは助けたの 5 どのようにイエスさまについて行くの 6 イエスさまによって救われていますか

小学中級科「ステップ」カリキュラム表

第 1 年 目		第 2 年 目	
①	(教会)『教会のはじめ』 (使徒/コリネオ他) 1 はじめの教会 2 助けあった教会 3 あかしした教会	③	(信仰)『神に仕えた人たち』 (マイ/ダニエル/ギデオン他) 1 仕えましょう 2 神さまといっしょに 3 選びましょう
	(創造)『世界のはじめ』 (創造/アブラム他) 4 神さまの創造 5 神さまを忘れた人々 6 神さまの救い		(生活)『神に従う喜び』 (ヤブ〜ヨセ他) 4 神さまからくる喜び 5 ゆるす喜び 6 みこころに従う喜び
②	(神)『偉大な神さま』 (アサ/ヨナ/イエス誕生他) 1 見守ってくださる神さま 2 わかってくださる神さま 3 イエスさまをくださった神さま	④	(奉仕)『主に喜ばれる奉仕』 (サムソ/ダビデ/イエス誕生他) 1 恵みのむだ使い 2 従う恵み 3 献げる恵み
	(救い)『神さまへの道』 (コデモ/イエス御業他) 4 最も大切なもの 5 神さまはどんなお方か 6 神さまへの道		(キリスト)『信仰の決断』 (パリサイ人/イエス十字架他) 4 自分を変えなさい 5 心を変えなさい 6 イエスさまを信じよう

小学上級科「ジャンプ」カリキュラム表

第 1 年 目		第 2 年 目	
①	(イエス伝)『イエスさまの教え』 (福音書) 1 愛を教えるイエスさま 2 信頼を教えるイエスさま 3 みこころを教えるイエスさま	③	(聖書)『聖書とわたし』 (出エジプト/福音書他) 1 聖書はどんな本ですか 2 聖書は何を教えていますか 3 聖書にはどんな力がありますか
	(神観)『主とはどんなお方か』 (出エジプト記他) 4 大いなる守り手 5 力ある裁き手 6 あわれみ深い導き手		(神観)『三位一体の神さま』 (ルカ/福音書他) 4 父なる神さま 5 子なる神さま 6 聖霊なる神さま
②	(宣教)『使徒ヨハネ・日本の宣教』 (福音書/使徒他) 1 キリストの愛を学んだヨハネ 2 愛の使徒ヨハネ 3 日本の宣教	④	(献身)『パウロの生涯』 (使徒の働き) 1 みこころを見出したパウロ 2 みこころに献身したパウロ
	(信仰)『主にあって強くされなさい』 (民数記/ヨシュア記) 4 信仰の力 5 信仰の勝利 6 信仰の歩み		(信仰生活)『わたしのイエスさま』 (福音書/イザヤ他) 3 シンボルに見るイエスさま 4 聖画に見るイエスさま

中学科(Juniors Now)カリキュラム表

第 1 年 目		第 2 年 目		第 3 年 目	
①	人の子とは誰ですか (肋福音書) 神さまに何を 期待できますか (ヨブ / ヨナ / マテウ)	③	ユダとイスラエルの 王たち (列王記 / 歴代誌) 信仰と行い ーヤコブの手紙 (ヤコブ書)	⑤	初めに神が (創世記1~11章) 選びの民 イスラエルの歴史 (旧約概論)
	神のGood News (良い知らせ) (新約概論) 本当に神さまを 知っていますか (ダニエル / エズラ)		イエス・キリストの 教会 (使徒1~16章) 宣べ伝える キリストの教会 (使徒8~23章)		さばきつかさたち (士師記) 人間関係-コリント書 (コリント書)
②	神と語る (詩篇の祈り) 私の家族 (放蕩息子 / ヨセフと兄弟)	④	神の預言者たち (大、小預言書) 愛の手紙-Iヨハネ (ヨハネの手紙第一)	⑥	王国の始まり (サムエル記) 王国の確立 (サムエル記)
	主のたとえ話 (マルコ / マタイ) 終わりのとき (黙示録)		山上の教え (マタイ福音書) 神の子とは誰ですか (ヨハネ福音書)		純粋な信仰 (テモテ書) キリストの弟子たち (四福音書 / 使徒)

テキストの特徴と使用方法

この教師用テキストをご使用いただく前に、このテキストの特徴をご理解くださることをお願いします。

C E M高校科テキスト編集委員会はクラスに出席する生徒の多様な必要と成熟度の違いに対応できることを考慮して、指導内容を初級・中級・上級に区分しました。しかし、実際に使用する生徒の気持ちを配慮して生徒用テキストにおいてその区分を明確に表すことは避けました。

次に、生徒たちが三年間（36単元）で聖書全体から実践的な学びを網羅することができるように「聖書の読み方」「教理」「実践」の三部からなるカリキュラムを構成することにしました。

初級とは

友人に誘われて教会学校に初めて来た生徒、あるいは親に勧められて嫌々ながら来ている生徒がこのクラスの対象になります。聖書や教会に対して積極的な興味があるわけではなく、聖書の人物や用語が分からない状態です。このような聖書の学びに関心の低い生徒を受け入れるクラスと教師をサポートします。

中級とは

以前から教会学校に来ており、さほど難しい箇所であればだいたいの聖書知識を持つ生徒がこのクラスの対象になります。まだ信仰の姿勢が受け身で、自分に関心のあることなら受け入れますが、自分の考えに合わない箇所には疑問や反感を持っています。生徒のモチベーションをもっと高める必要のあるクラスと教師をサポートします。

上級とは

すでに明確な救いの確信と献身的な信仰を持っており、神に積極的に仕えたいという意思がある生徒がこのクラスの対象になります。聖書を自分で読み、信仰生活と教会生活が安定しており、友人にも自分の信じているものを説明することができます。信仰の知識面と日常生活での適用の面でさらに熟練を旨ざしていく必要のあるクラスと教師をサポートします。

「聖書の読み方」では

聖書各書の意味や内容の解説のみにとどまらず、その書が固有する背景や特徴に注目します。上級では、従来から霊的解釈されたものや模範解答的な先入観を避けて、その巻が本来持っている特徴や背景を理解した上での正しい聖書の読み方を身に着けるよう指導します。中級では、従来の高校生テキストのようにその聖書箇所から模範とすべき原則や教えを洞察し、自分自身に適用することを指導します。初級は、その日の授業の主題に注目させます。生徒が聖書の魅力に感動して、さらにこのクラスに興味を深まるよう指導します。

「教理」では

この年代でとくに重要な教理を学びます。上級では、すでに明確な信仰をもち、教会生活の長い生徒たちが、日常生活において実際に教理を適用した場合に経験する様々な疑問点や矛盾だと思ふような課題に正面から向き合います。そして、その解決のための具体的な方法や課題の取り扱い方について指導します。中級では、今まで曖昧なままに過ごしてきた重要な聖書教理を正確に理解できるよう指導します。初級では、まだ直接に教理について取り上げる段階ではないことに注目します。その日の授業では生徒が教理のテーマに対する自分たちとの関わりを見出して、さらに興味や関心が深まるよう指導します。

「実践」では

C E M高校科テキストの目標であり、その特徴のひとつが実践力を身に着けることです。生徒たちは「聖書の読み方」と「教理」の学びによって得た新しい知識と理解を実際の生活に適用することで実践力を高めていく必要があります。上級では、教理の学びの時と同じように、明確な信仰を持った生徒が社会の中でキリスト者として生きていこうとする時に、実際に直面する様々な困難とその解決法が分からなくて行き詰ることがあります。生徒とともにその課題と正面から向き合ってその具体的な対策の取り組み方や聖書の原則の適用と応用について指導します。中級では、自分が経験する様々な経験を聖書の原則に照らし合わせて理解し解決することを指導します。初級では、その日の授業の主題に関心が深まるよう質問や討論などをします。生徒自身が聖書の中に自分たちが経験する様々な問題について具体的な解決法や原則があることを見つけて、さらに聖書に親しみと興味を深まるよう指導します。

生徒を区分できない場合

実際の授業において生徒の構成や教師の人数等により、このテキストが期待しているように生徒の成熟度に合わせて初級・中級・上級に区分できない場合も想定されます。その場合には、構成する生徒を初級と中級とを合併したり、あるいは中級と上級とを合併してください。同様に教える内容も生徒の必要に合わせて調整するなど、このテキストを参考にして授業の内容アレンジしていただくことをお勧めします。

初心者の生徒への配慮

友人に誘われて初めて高校科の授業に出席した生徒の場合に、教師はその授業で使用される専門用語には特に注意しなければなりません。統計上、教会が嫌いになった初心者(生徒)の約8割が「教師の語る言葉の意味が理解できず、さらに、知らないことを質問されて恥ずかしい経験をした」ことを挙げています。「初級の生徒」を対象とした授業において聖書の専門用語を使用する必要がある場合は、その生徒が理解できるように噛み砕いた別の表現で言い換える工夫をしてください。導入の部分では、初心者の生徒の身近な話題からその日の聖書の学びの真理と関連する話題を選び、生徒がその授業に親しみを感じながら教師の問いかけに応じられるよう工夫してください。

テキストのさらなる活用法

C E M 高校科テキストは高校生以外に教会の小グループのテキストとして活用していただくことも考慮して編集されています。

さらに、このテキストでの上級の学びは、「聖書の読み方」は聖書解釈学の基礎学習のために、「教理」は聖書の基本的な教理解の学習のために、「実践」は信仰者として実際の社会生活をおくる上で経験する諸問題を取り上げ、それらに聖書の原則を適用していくための具体的な問いかけやアイデアを提供するものです。これらはベテラン教師のスキルアップのためにきっと役立つことを確信します。また、教師用テキストを新人教師訓練の指導書として活用することが出来ます。対象となる生徒の成熟度に配慮した初級レベル、中級レベル、上級レベルの違いとそれぞれへの対応の仕方を理解し、その指導法を習得することは、生徒の様々な必要に応えられるクラスを実現するための貴重な学習となるでしょう。

1年目

			部門
4月	単元 1	聖書 I	教 理
5月	単元 2	神 I	教 理
6月	単元 3	キリスト I	教 理
7月	単元 4	救い I	実 践
8月	単元 5	福音書	読み方
9月	単元 6	人と罪	教 理
10月	単元 7	人間関係 I	実 践
11月	単元 8	人物伝 I	読み方
12月	単元 9	聖霊	教 理
1月	単元 10	詩文書	読み方
2月	単元 11	救済 I	教 理
3月	単元 12	クリスチャン生活	実 践

2年目

			部門
4月	単元 13	価値観	実 践
5月	単元 14	聖書 II	教 理
6月	単元 15	救い II	実 践
7月	単元 16	神 II	教 理
8月	単元 17	キリスト II	教 理
9月	単元 18	礼典	教 理
10月	単元 19	使徒の働き	読み方
11月	単元 20	弟子・賜物	実 践
12月	単元 21	モーセ 5 書	読み方
1月	単元 22	救済 II	教 理
2月	単元 23	教会 I	教 理
3月	単元 24	社会との関係 I	実 践

3年目

			部門
4月	単元 25	結婚	実 践
5月	単元 26	聖化	教 理
6月	単元 27	教会史	教 理
7月	単元 28	救い III	実 践
8月	単元 29	進路	実 践
9月	単元 30	教会 II	教 理
10月	単元 31	預言書	読み方
11月	単元 32	人間関係 II	実 践
12月	単元 33	書簡	読み方
1月	単元 34	人物伝 II	読み方
2月	単元 35	終末	教 理
3月	単元 36	社会との関係 II	実 践